

令和5年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・花や野菜、様々な生き物の世話を通して、学習に対する興味の持続や、責任をもって最後までやり遂げようとする大切さを知ることができた。
- ・学級内のペア活動、グループ活動を積極的に取り入れたり、保育園や幼稚園など異年齢の子との交流を設定したりしたことで、様々な人と関わっていることに気付くことができた。

(2) 課題

- ・コロナ禍であったため、まち探検を実施できないなど活動に制限があった。
- ・ペアやグループなど交流をすることを重視し、学級全体としてたくさんの気付きを共有することができたが、共有するのみにとどまってしまったため、そこから新しい気付きへとつなげていくことができなかった。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較） ※実施なし

(2) 分析（観点別） ※学習効果測定未実施のため、1学期の児童の様子より分析

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○動植物の飼育や栽培では、継続的な世話をすることができ、様々な変化や成長の様子に気付くことができた。</p> <p>○活動の前に気付きの視点を確認したり、振り返りで児童から出た気付きを分類したりすることで、今後も児童に多様な気付きの視点を身に付けさせていく必要がある。</p>	<p>○分かったことや気付いたことを絵や文で表現することを継続的に行ったことで、自分なりの気付きをまとめることができるようになってきた。</p> <p>○語彙が少ないため、観察した結果を適切な言葉で表現することが難しい様子も見られた。全体で交流し、伝え合うことを通して、よりよい表現の仕方を身に付けられるよう指導していく必要がある。</p>	<p>○楽しみながら活動に取り組むことができたが、教師が「今日は～します。」から始まった活動もあった。「～したい。」という児童の思いや願いを、より丁寧に引き出して活動につなげることで、より効果的な学習が行えると考える。</p>

3 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○同じ対象（身近な人々や自然）を何度も訪れたり、観察したりすることで、変化に気付きやすいようにする。</p> <p>○活動を行う際には、見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなど多様な気付きの視点で関わるができるようにする。また、振り返りでは、児童から出た気付きを分類することで、次回も気付きの視点を生かせるようにする。</p>	<p>○身近な人々や自然と自分との関わりを考える際に、見付ける、比べる、例える、試す、見通す、工夫するなどの学習活動を積極的に取り入れ、多様な考えが生まれるようにする。</p> <p>○動作化、劇化など言葉や絵による表現以外にも様々な表現方法を取り入れて伝え合うことを通して、よりよい表現の仕方を身に付けられるようにする。</p>	<p>○体験的な活動、人との関わりのある活動、多様な場での活動を多く取り入れることにより、関心・意欲を高める。</p> <p>○「～したい。」という思いや願いを一人一人がもてるよう、課題がある場面を意図的に設定したり、ICTを積極的に取り入れたりと導入の工夫をし、活動につなげることで、より効果的な学習を行っていく。</p>